



8/27  
火曜日

栃木からの森里川湖  
プラごみゼロ宣言

プラスチックごみ対策の一層の強化を図るため、栃木県公館において県と県内全25市町による「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行いました。これをキックオフとして、オール栃木体制で、不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底を図っていきます。町民の皆さんも、不必要なものは増やさず、ごみはきちんと分別してポイ捨ては絶対しないようお願いします。



8/27  
火曜日

横倉さん100歳敬老祝賀

横倉岱子さん(西高橋)が100歳を迎えるにあたり、見目町長がお祝いに訪問しました。横倉さんは麺類や果物が好物だそうです。趣味は家庭菜園や和菓子作りで、中学校の和菓子作り体験に講師として招かれたこともあるそうです。見目町長からお祝いの言葉をかけられると立ち上がり、満面の笑みを見せていました。



8/29  
木曜日

8/30  
金曜日

はがイングリッシュ  
キャンプ

道の駅はがで、町内小中学校のALTと㈱ジョイトークの職員を講師に招き、小中学生が英語のみを使って活動を行いました。ゲームやカレー作りなどを行い、子どもたちは初めは恥ずかしそうな様子で英語を話していましたが、慣れてくると、友達と笑顔でコミュニケーションを取ったり、ALTとお話をしたりと、楽しく英語に親しむことができたようです。



8/21  
水曜日

はがまる料理教室  
子どもたちが那須町で体験学習

子どもたちは、牧場でソーセージ作りに挑戦しました。バターも作り、瓶に入れた牛乳と生クリームを10分ほど攪拌した物がバターだと分かることみんな驚いていました。お菓子の工場も見学しました。帰りのバス内で感想を発表し、「腸詰めが難しかったけど、がんばってできたのでよかった」「バター作りが大変だったけど、おいしくできてよかった」など、充実した体験になったようです。



8/22  
木曜日

未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検

町内保育園や認定こども園の周辺道路で、未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検が行われました。真岡警察署員や真岡土木事務所、町建設課、同こども育成課の職員が点検に当たりました。今年5月に滋賀県大津市で起きた園児らの痛ましい交通事故を踏まえ、幼い子どもたちが交通事故や犯罪などに巻き込まれないよう、見通しが悪い交差点や道幅が狭い危険箇所などについて、今後の対策を検討しました。



8/26  
月曜日

とちぎの道現場検証

町内で「とちぎの道現場検証」が行われました。見目町長や真岡警察署員、真岡土木事務所職員、町議会議員、自治会役員、芳賀工業団地連絡協議会役員、教育関係者が参加し、一般県道石末真岡線(西高橋)と町道前久保後久保線(東水沼)を視察しました。そのあと意見交換を行い、早期整備の必要性について共通認識を図りました。



8/10  
土曜日

生涯学習講演会「子どもたちに伝えたいこと〜こどもに読書と自然体験を〜」

町民会館で、生涯学習講演会が行われました。フリーアナウンサーの須賀由美子さんらによる絵本の朗読のあと、児童文学作家の漆原智良先生、詩人であり童話作家の内田麟太郎先生、画家の岡山伸也先生によるトークショーが行われました。また、ソプラノ歌手の矢口美乃里さん(下延生出身)によるオペラ独唱があり、参加者は美しい歌声に聞き入っていました。



8/17  
土曜日

祖母井分館チャレンジクラブ  
水鉄砲遊びで打ち水効果体験

祖母井分館のチャレンジクラブで、打ち水効果体験を通して地球温暖化について考えました。地球温暖化についてのお話では、「北極の氷がすべて溶けてしまったらどうなるかな?」の質問に、子どもたちは真剣に考えていました。また、役場駐車場で水鉄砲で遊んだあと地面を測温してみると、温度が10度も下がり、子どもたちはみんな驚いていました。楽しく打ち水効果の体験ができました。



8/17  
土曜日

生き生き生涯学習友の会  
夏休み特別講座「水彩画体験」

生涯学習センターで、町ボランティア生き生き生涯学習友の会の夏休み特別講座が行われました。今年は水彩画体験で、沼能宏之さん(祖母井)が講師となり、児童8人が参加しました。子どもたちは、それぞれ自分が描きたいモチーフを選び、構図と配色を考えながら、作品を思い思いに仕上げていました。

# TOWN REPORT

《タウンレポート》

AUTUMN  
2019.10



8/3  
土曜日

水橋分館サマースクール  
電波教室

水橋分館のサマースクールで、12人が参加して「電波教室・FMラジオ作り」が行われました。小学2、3年生は親子で、5年生は自力でラジオを作り、電波の不思議を学びました。子どもたちからは「今度はもっと難しいラジオを作りたい」「スピーカーやアンプも作ってみたい」との声が聞かれ、「ものづくり」の楽しさを感じたようです。



8/5  
月曜日

青木さんのトマトが県で金賞

第12回栃木県冬春トマトグランプリ表彰式が県庁で行われ、促成の部で青木力さん(稲毛田)が見事金賞(栃木県農協中央会長賞)を受賞しました。青木さんはハウス栽培18年目で、甘味や安全安心な栽培方法にこだわりながら、麗容という品種を育てています。受賞の感想を伺うと「今年は雨が少なくこれまでになくほど病気が出たが、修正できた。地道な努力が認められたのだと思う。消費者に喜んでもらえるものを作りたい」と話していました。